

平成28年度北九州工業高等専門学校編入学者選抜学力試験
における出題ミスについて

平成27年7月29日(水)に実施した平成28年度北九州工業高等専門学校編入学選抜学力試験の「数学」の試験問題に、下記のとおり出題ミスがあることが判明いたしました。

つきましては、これに対して下記のように対応させて頂く事になりました。

このことは、本校の選抜試験に対する信頼を損なうだけでなく、受検者をはじめ関係者の皆様に多大な御迷惑をおかけするものであり、深く反省するとともに心からお詫び申し上げます。

今後は、入学者選抜試験におけるチェック体制を厳しく再点検し、出題ミスの再発防止に全力をあげるとともに、全教職員に対して入学者選抜試験業務の重要性について注意喚起を行い、ミスの防止に万全を期する所存でございます。

受検者をはじめ関係者の皆様には、このたびの対応について御理解いただきますようお願い申し上げます。

記

1 出題ミスの概要

編入学者選抜学力試験の「数学」の試験において出題ミスがありました。

【不備の箇所】

・設問4(1)

【不備の内容】

「増減、極値、凹凸、変曲点を調べグラフの概形を描け。」の「凹凸、変曲点」は数Ⅲで学ぶ内容であり、平成28年度編入学生募集要項の「6. 選抜方法の(1) 学力検査科目及び出題範囲」で指定した数学の出題範囲から外れた設問であった。

2 本校の対応

以上の出題ミスに対して本校では、「設問4の(1)については、受検者全員(16名)に対し、正誤に関わらずその得点を与える。」措置を取ることいたしました。

平成27年8月3日

北九州工業高等専門学校長

塚 本 寛